

3章 循環障害

1－循環障害とは

1. 体液と血液の循環

生体内の液性成分（体液）は、成人体重の約60%に相当。

血液循環は、（ ）循環と（ ）循環に分けられる。

2－循環障害の種類

1. 循環血液量の異常

1) 虚血

局所の血液量の減少

2) 充血とうつ血

充血・・・局所の（ ）血の供給増加

うつ血・・・局所の（ ）血の供給増加

3) 出血

破綻性出血と漏出性出血

4) 浮腫（水腫）

局所の組織間に体液が増加した状態

高血圧、（ ）タンパク血症、リンパ還流の阻害でおこる。

5) ショック

血管容量に対して循環血液量が急激に（ ）し、低血圧状態になる事。

2. 閉塞性の循環障害

1) 血栓症

血管内で形成された血液（ ）を血栓という。

2) 塞栓症と梗塞

血管内の（ ）を塞栓といい、塞栓が血管を閉鎖することを塞栓症という。

血管の閉塞により局所的虚血性（ ）を梗塞という。

3) 動脈硬化症

動脈壁の肥厚により血管壁が硬化する病変。

3. 側副循環（傍側循環）

血流が妨げられ、吻合枝を経由してほかの血管を迂回して血流が確保される事。